教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の結果報告書 (平成30年度事務事業分)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条の規定による

> 令和元年11月 七尾市教育委員会

目 次

Ι	教育多	委員会の事務の点検・評価制度の概要
]	1 七届	尾市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について・・・・1
	(1)	点検及び評価の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
	(2)	点検及び評価の対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・1
	(3)	点検及び評価の実施方法 ・・・・・・・・・・・・・・・1
	(4)	教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について ・・・・・・・・・・2
П	教育多	委員会の活動状況
]	L 教育	育委員会委員名簿4
4	2 教育	育委員会会議の開催状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
9	3 その	の他の主な活動
Ш	点検・	・評価の結果
]	上 第1	1次七尾市総合計画 基本計画(分野別計画)における施策体系 ・・・・・・・・・・・・・・・8
2	2 事務	 第事業の点検・評価の概要
	1-((1) 子どもの健全育成 ······ 9
	1-((2) 教育環境の充実 ・・・・・・・・・・・・・・15
	1-((3) 学校教育体制の強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
	2-((1) 生涯学習の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
	2-((2) スポーツの振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
	3-(1) 歴史・文化遺産の保全と活用33
	4-(1) 優れた芸術・文化体験の創出 ・・・・・・・・・・・・・・・・39
	4 - ((2) 地域に根ざした演劇文化の振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 4

I 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1 七尾市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

七尾市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地方教育行政法」という。)第26条の規定により、平成30年度中における事務の管理及び執行の状況について、 点検及び評価を行います。

(1) 点検及び評価の目的

点検・評価は、住民に対する行政の説明責任を果たすことによって教育行政に対する市民 理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にする ことによって、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

- (2) 点検及び評価の対象
 - ① 対象期間

平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

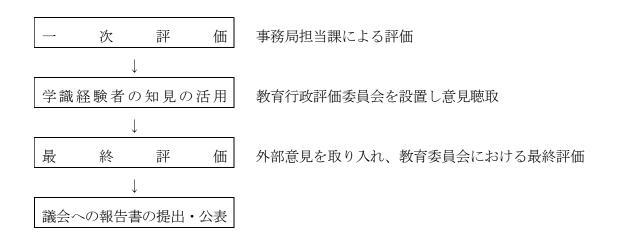
② 対象事務

地方教育行政法に規定されている教育委員会の権限に属する事務及び市長の権限に属する 事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

平成21年3月に策定された「第1次七尾市総合計画」(平成21年度~平成30年度)の基本計画中、分野別計画に掲げる施策体系に沿って、「第3節 教育」及び「第4節 芸術・文化」における基本的政策と施策について、施策を構成する事務事業ごとに、平成30年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施します。

点検・評価の手順は、次のとおりです。



(4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用について

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々からご意見を いただくため、「七尾市教育行政評価委員会」を設置します。

委員の構成は、次のとおりです。

- 学識経験者
- ・ 保護者の代表
- ・ スポーツ関係団体の代表
- 社会教育関係の代表

七尾市教育行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律162号) 第26条第1項に規定する点検及び評価の実施にあたり、同法同条第2項に規定する 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、七尾市教育行政評価委員会 (以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

- 第2条 委員会は、七尾市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の求めに応じ、 次に掲げる事項について意見を述べるものとする。
 - (1) 教育委員会の権限に属する事務の点検方法に関すること。
 - (2) 教育委員会の権限に属する事務の評価に関すること。
 - (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、5人以内をもって組織し、教育に関し識見を有する者のうちから 教育委員会が委嘱する。

(任期)

- 第4条 委員の任期は、委嘱の日から教育委員会が点検及び評価の結果を公表する日までとする。
- 2 委員が欠けたときは、必要に応じて委員を補充するものとし、その任期は前任委員 の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。 (会議)
- 第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、教育委員会教育長が招集する。
- 2 委員長は、必要に応じて関係職員その他委員長が必要と認める者の出席を求め、 関係事項について説明させ、又は意見を述べさせることができる。
- 3 会議は、公開とする。ただし、委員会の決定があったときは非公開とすることができる。

(傍聴)

第7条 会議の傍聴に関しては、七尾市教育委員会会議傍聴規則(平成16年七尾市 教育委員会規則第3号)の例による。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において行う。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が 委員会に諮って定める。

附則

(施行期日)

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会名簿

(平成31年3月31日現在)

教育長 高 絹 子 (平成28年12月21日~令和元年12月20日、1期目)

教育長職務代理者 寺 岡 卓 子 (平成30年12月21日~令和 4年12月20日、3期目)

委員 大森重宜 (平成29年12月21日~令和3年12月20日、5期目)

委員 石川武志 (平成28年12月21日~令和2年12月20日、1期目)

委員 播摩正義 (平成29年12月20日~令和元年12月20日、1期目)

2 教育委員会会議の開催状況

期 日	場所	付 議 案 件 等				
平成30年 4月定例会 (平成30年4月27日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育委員会会議規則の一部改正について 七尾市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 七尾市教育委員会事務局職員職名規則の一部改正について				
5月定例会 (平成30年5月31日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育奨励賞選考委員会委員の委嘱について 七尾市若林スポーツ賞選考委員会委員の委嘱について (報告事項) 寄附採納について (1件)				
6月定例会 (平成30年6月19日)	災害対策本部室	(議決事項・報告事項) なし				
7月定例会 (平成30年7月25日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市史跡七尾城跡整備基本計画策定委員会委員の委嘱について (報告事項) 寄附採納について (2件)				
8月定例会 (平成30年8月28日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市少年科学館条例を廃止する条例について 七尾市のと里山里海ミュージアム条例の一部を改正する条例について 七尾市のと里山里海ミュージアム条例の施行期日を定める規則について				
9月定例会 (平成30年9月26日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 七尾市教育奨励賞条例施行規則の一部を改正する規則について 七尾市教育行政評価委員会委員の委嘱について (報告事項) 寄附採納について(2件)				

期日	場所	付 議 案 件 等
10月定例会 (平成30年10月26日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育委員会教育長事務委任規則の一部を改正する規則について 七尾市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 七尾市教育委員会事務決裁規則の一部を改正する規則について 七尾市能登国分寺展示館条例施行規則の一部を改正する規則について (報告事項) 寄附採納について(1件)
11月定例会 (平成30年11月26日)	のと里山里海 ミュージアム 学習室	(議決事項) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告 について 室木邸建築総合調査委員会委員の委嘱について (報告事項) 寄附採納について(1件)
第2回臨時会 (平成30年12月20日)	災害対策本部室	(議決事項) 教育委員会組織(平成30年12月21日~)について 教育長職務代理者の指名について
12月定例会 (平成30年12月20日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育委員会教育長の職務代理者に関する規則について 七尾市スポーツ賞選考委員会委員の任命について (報告事項) 寄附採納について (1件)
平成31年 1月定例会 (平成31年1月25日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市学校施設使用条例の一部を改正する条例について 七尾市学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則について 七尾市奨学金支給条例施行規則の一部を改正する規則について 七尾市教育奨励賞受賞者の決定について 七尾市若林スポーツ賞等受賞者の決定について 七尾市立学校職員表彰者の決定について (報告事項) 寄附採納について(3件)
2月定例会 (平成31年2月15日)	サンビーム日和ヶ丘 研修室 2	(議決事項) 石川県七尾美術館条例の一部を改正する条例について 石川県能登島ガラス美術館条例の一部を改正する条例について 七尾市サンビーム日和ヶ丘条例を廃止する条例について 七尾市能登島生涯学習総合センター条例の一部を改正する条例 について 七尾市中島文化センター条例の一部を改正する条例について 七尾市体育施設条例の一部を改正する条例について 七尾コロサスキー場条例の一部を改正する条例について 七尾城史資料館条例の一部を改正する条例について 七尾ホ明治の館(室木家住宅)条例の一部を改正する条例について 七尾市明治の館(室木家住宅)条例の一部を改正する条例について

期 日	場所	付 議 案 件 等
第1回臨時会 (平成31年3月19日)	災害対策本部室	(議決事項) 七尾市教育委員会事務局職員の人事異動について 教職員の人事に関する内申について
3月定例会 (平成31年3月27日)	災害対策本部室	(議決事項) 平成31年度七尾市教育行政の目標と基本施策について 七尾市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 七尾市立小中学校の指定学校の変更等に関する規則の一部を改正する規則について 七尾市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 七尾市社会教育委員の委嘱について 七尾市教育研究所長の任命について 七尾市教育研究所長の任命について 石川県七尾美術館館長の委嘱について 石川県能登島ガラス美術館館長の委嘱について 七尾市若林スポーツ奨励賞受賞者の決定について (報告事項) 寄附採納について(2件) 七尾市教育委員会事務局職員の人事異動について

3 その他の主な活動

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成30年4月	市立小中学校入学式 朝日小学校開校式 定例校長会	小学校10校、中学校4校【5名】 朝日小学校【5名】 本庁201会議室【5名】
5月	石川県市町教育委員会連合会定期総会 学校訪問	金沢市教育プラザ富樫【4名】 市内全小中学校【5名】
6月	学校訪問	市内全小中学校【5名】
7月	学校訪問	市内全小中学校【5名】
8月	石川県市町教育委員会セミナー	KKRホテル金沢【2名】
9月		
1 0月	石川県市町教育委員会連合会研究大会 学校訪問	穴水町のとふれあい文化センター【5名】 市内小中学校9校【教育長】
11月	石川県市町教育長研修会 学校訪問	KKRホテル金沢【教育長】 市内小中学校 9 校【教育長】
1 2月	学校訪問	市内小中学校9校【教育長】
平成31年 1月	平成31年七尾市成人式	七尾サンライフプラザ【3名】
2月	七尾市総合教育会議 石川県市町教育委員会連合会理事会 七尾市教育活動をたたえるつどい	七尾市役所【5名】 金沢市教育プラザ富樫【教育長】 サンビーム日和ヶ丘【5名】
3月	市立小学校卒業証書授与式市立中学校卒業証書授与式	中学校 4校【5名】 小学校10校【5名】
通年	七尾市議会定例会及び臨時会 その他関係方面からの会議・行事出席 依頼による参加	七尾市議会議場【教育長】

Ⅲ 点検・評価の結果

1 第1次七尾市総合計画 基本計画(分野別計画)における施策体系

		政 策	基本的施策	施策
			1 協働・市民参画の	(1)協働のまちづくりの推進
	市民が主役の		推進	(2) 広報・広聴活動の充実
	まち	地域経営	2 効率的な行政経営	(1) 行政サービスの向上
			の推進	(2) 健全な行財政経営の推進
				(1)魅力あふれる観光地の形成
			1 観光の振興	(2) 広域観光の促進
				(3) 体験・滞在型交流の促進
				(1) 地域資源を活かした商工業の振興
			2 商工業の振興	(2) 雇用機会の創出と人材育成
		産業		(1) 個性豊かな農業の振興
			3 農林水産業の振興	(2)豊かな森林資源の保全と活用
人				(3)魅力ある水産業の創出
	活気あふれる		4 港を核とした産業	
	一元気なまち		の振興	(2) 中心市街地活性化の推進
ا ين ا				(1) 子どもの健全育成
が			┃ ┃1 子ども教育の充実	<u> </u>
			1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(3)学校教育体制の強化
				(1) 生涯学習の推進
輝		<u>教 育</u>	2 生涯学習・スポー	- (2) スポーツの振興
"+			ツの振興	(3) 国際交流の推進
			0.1 松業子 田1.11	
,			3 人権尊重・男女共 同参画の推進	
				(2)男女共同参画の推進
			1 歴史・伝統文化σ 振興	
		芸術・文化	<u>1)X 94</u>	(2) 伝統的祭り行事の振興
交	ナルのギッギ		2 芸術文化の振興	(1)優れた芸術・文化体験の創出
	文化の薫る美			(2) 地域に根ざした演劇文化の振興
	しいまち		1 自然環境・景観の	
_{>==}		自然環境	保全	(2)魅力ある景観の形成
流	J		2 地球環境の保全	(1) 地球温暖化対策の推進
				(2)循環型社会の形成
			 1 子育て・子育ち環	(1)子育て支援体制の充実
体			境の充実	(2) 子も親も共に育つ環境づくりの推進
				(3) 母子保健の充実
			2 健康づくり・医療	(1) 生涯を通じた健康づくりの推進
 		 健康・福祉・	の充実	(2) 医療体制の充実
感		医療	 3 高齢者福祉の充実	(1) 高齢者の自立と社会参加の促進
			0 间隔阳 田 远 0 元 5	(2)介護支援体制の充実
			 4 障害者福祉の充実	(1)障害者の自立と社会参加の促進
都			4 学口有佃伍07几天	(2) 生活支援体制の充実
	安全で住みよ		5 地域福祉・生活保	艮 (1) 地域福祉の充実
	いまち		障の充実	(2) 生活保障の充実
			1 防災対策の充実	(1) 防災体制の整備
市			1 別火刈界り兀夫	(2) 災害未然防止対策の充実
			9 仕得倍の大字	(1) 住宅・緑地の整備
		11 . Yes am 1-1-	2 住環境の充実	(2) 防犯・交通安全対策の充実
		生活環境・ 都市基盤		(1) 環境衛生の推進
		御川空溢	3 生活環境の充実	(2) 安定した水の供給
		-		(3)下水道等の整備
			. 4.7.11	(1) 道路網の整備
l	\		4 交通体系の充実	(2) 鉄道・バスの充実

1 子ども教育の充実 (1) 子どもの健全育成

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	30年度 数値目標
学校の決まりを守っていな いという小学生の割合	児童の規範意識 を示す指標	3. 5%	8.2%	8.0%	12.0%	10.0%
将来の夢や目標がないとい う中学生の割合	子どもの目標意 識を示す指標	25.8%	16.7%	19.7%	21.0%	10.0%

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 家庭・地域・学校が一体となった子どもの教育の推進

わく・ワーク体験 (キャリア教育) 中学2年生による市内企業等における職場体験 市内4校、403人参加 生徒が希望する地元企業 の協力もあり、職業観が 育まれてきている。

「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(土曜日の教育活動)の実施 市内全小中学校 年間3回程度の土曜授業を実施 年間8~10回から3回程度に縮減し、内容・回数を精選した。

七尾市PTA連合会の運営支援 保護者活動の支援による児童生徒の健全育成、教育行政への参画 市PTA連合会との更な る連携が望まれる。

「伸ばせ!七尾っ子プロジェクト」 のばプロ子育て座談会実施 1回 (平成30年11月16日) 「毎月7日は七尾っ子の日」の定着推進 のばプロ子育てセミナーの開催



市P連を中心に小中学校 の教員と保護者が「子育 て座談会」を通して意見 交換をしている。

「わたしたちのななお」の活用 小学3年~4年生 社会科副読本 (※ 平成21年度以降は、支給ではなく貸与としている。) 身近な教材として、七尾 市の概要を掲載して活用 している。

② 豊かな心の教育の推進

ふるさと伝統芸能子ども発表会

平成30年11月25日(七尾サンライフプラザ)

参加人数 1,300人

地域と連携した伝統芸能の継承



地域に伝わる芸能や文化 について、地域と連携し た取組が推進されてい る。次年度からは一堂に 会した発表会ではなく、 各地域で発表の場を設け るように変更する。

劇団四季「こころの劇場」

平成30年10月20日(七尾サンライフプラザ) 小学6年生対象

合同音楽会の開催

小学4年生 平成30年11月 9日 (七尾サンライフプラザ) 中学2年生 平成30年11月15日 (七尾サンライフプラザ)

立志の日記念事業 立志を祝い先人の経験等による自立の促進 市内4中学校で講演会(507名参加)

中学校私の主張発表大会の開催

市内中学校代表による発表大会の開催(各校持ち回り) 平成30年7月10日(能登香島中学校)

七尾市教育奨励賞

小中学生の学習活動奨励のため優れた研究、創作等に対する顕彰 平成31年2月15日(教育活動をたたえるつどい)

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
団体の部	1団体	3団体	4団体	1団体
個人の部	2 3 人	31人	29人	29人

観劇をとおして、子供たちに命の大切さや思いやる心など生きる力を育んでいる。

児童生徒が音楽に親し み、一体感が促されて いる。

中学校統合で学校数が減 少したことにより、次年 度より中学校の音楽会を 行わないこととする。

将来への思いを持つと同時に、生徒の自立意識が 育まれている。

生活の中で感じたり学んだりしたことを発表することで説得力のある表現力の育成が図られている。

参加者や開催時期の重なりから次年度より全能登 大会へ併合する。

児童、生徒の研究・創作 に対する活動が期待さ れ、引き続き学習の意識 づけを図る。

少年科学館の管理運営

自然科学に関する資料の収集、管理及び各種行事開催による科学教育の振興

区分	平成27年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
年間延べ	休館	休館	休館	閉館
入館者数	VNRE	VNRE	1/NEE	[AT].RE

平成30年8月に閉館。 資料等は、のと里山里海 ミュージアムへ引継を行った。

社会教育指導員の設置

心の教育及び青少年家庭教育の推進など 非常勤 1名(週3日)

青少年リーダーの育成

リーダークラブの育成及び丸亀市等の青少年団体との交流 事業主体:七尾市少年団体連絡協議会

ジュニアウイングス・イン・アメリカ 市内中学生のアメリカ姉妹都市への派遣交流(8月) カリフォルニア州モントレー市 参加者なし

ジュニアウイングス・イン・ジャパン モントレー市からの訪問受入れ交流(10月) 生徒12名、引率者3名



日本の遊び文化教室・放課後子ども教室出前講座 伝承遊びや物づくり体験を通じた子どもの健全育成 事業主体:石川県生涯学習インストラクターの会 知識と経験による各種 事業の着実な推進が図ら れている。

様々な体験活動を通じた 地道な育成活動が図られ ている。

青少年の積極性ある コミュニケーション能力 と国際意識の向上が図ら れている。

事業の定着により、青少年の国際意識の向上が 図られている。

貴重なボランティア指導 者による地道な活動が 展開されている。

③ 子どもの体力・健康づくりの推進

学校医の配置

学校保健安全法第23条の規定による学校医の配置

区 分	小学校	中学校
内科医 (定期健康診断、就学時検診)	13名	6名
耳鼻科医	2名	3名
眼科医	4名	4名
歯科医	10名	6名
薬剤師(飲料水、プール、給食室、冬期空気検査)	10名	4名

法令の趣旨に沿った配置 により、学校保健の的確 な対応がされている。

児童生徒の定期健康診断等

学校保健安全法第11条の規定による就学児健康診断等の実施

学校保健安全法第13条の規定による児童生徒健康診断等の実施 尿検査など

児童生徒心臓検診

学校保健安全法第13条の規定による児童生徒心臓検診の実施 小学1年生(351人)、中学1年生(435人)

学校検診器具の維持管理

児童生徒用健康診断検診器具の滅菌処理

日本スポーツ振興センター災害給付

 掛金負担
 小中学校児童生徒
 3,592名分
 3,381,790円

 給付実績
 医療費給付
 331件
 3,084,707円

学校活動に関連した傷病 に対し、適正に運営され

七尾市学校保健会の運営参画

学校における保健管理の徹底による教育活動の円滑化 事業主体: 能登中部保健福祉センター

「学校保健要覧」の作成

学校保健に関する統計情報を活用した保健活動の充実 作成部数 130部

教育環境の測定と適正化

教育環境の適正化 空気濃度測定検査、水質検査

学校給食施設設備の維持管理

単独調理方式(3校:朝日小、中島小、七尾東部中) 共同調理方式(11校4箇所:田鶴浜、能登香島、山王、小丸山) 学校保健に関する情報の 整理が適正に行われて いる。

環境測定が適正に行われ ている。

栄養管理、衛生管理とも に適正に行われている。 単独調理方式から共同調 理方式への移行を進め る。

法令の趣旨に沿って適正 に実施されている。

法令の趣旨に沿って適正

に実施されている。

適正に実施されている。

学校と医療、関係機関と の連携が図られている。

ている。

七尾市学校給食会の運営

安全安心な給食物資の安定供給、調理員研修会の開催など

学校給食の栄養管理

栄養教諭・学校栄養職員の配置(5人) 献立作成会議における統一献立の検討(学校給食会)

学校における食育の推進

給食や活動を通じた食育の推進 学校ごとに特色のある食に関する指導の実践 「七尾市食育推進計画」の推進(参画)

学校における地産地消の推進

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
石川県野菜の使用率	27.2%	25.6%	22.9%
算出根拠	品目割合	品目割合	品目割合

学校給食費の適正収納

給食費の収入状況(各年度3月末現在)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度
納めるべき給食費の額	215, 108, 429 円	209, 038, 652 円
納付された額	214, 321, 755 円	208, 740, 943 円
差引未納額	23 件	29 件
左列本附領	786, 674 円	297, 709 円

小学校体育行事の開催

委託先:七尾市学校体育研究会

事 業 名	対象学年	期日
水泳記録会	小5·6	7月25日
連合運動会	小6	6月13日
器械運動交歓会	小3	10月 3日
サッカー交歓会	小5	10月10日

中学校体育行事の開催

委託先:七尾市中学校体育連盟

事 業 名	期日
七尾鹿島中学校陸上競技大会	5月23日
七尾鹿島中学校体育大会	4月14日~22日
七尾鹿島中学校新人体育大会	9月15日~24日

安全な給食物資の安定供給が図られている。

栄養職員の連携により、 適正な栄養管理が行われ ている。

地産地消や食事作法など、食に関する様々な 取組みが行われている。

文部科学省の算出基準で 地産地消を推進し、引き 続き取組む。

未納分については、保護 者への周知や納入依頼、 就学援助費支給制度を利 用し、回収に努めている。

児童が運動を通して切磋 琢磨し、交流による健全 な成長が促されている。

生徒が運動をとおして切 磋琢磨し、交流による健 全な成長が促されてい る。

若林スポーツ賞及び若林スポーツ奨励賞

小中学生のスポーツ活動奨励のための顕彰

平成31年2月15日(教育活動をたたえるつどい)

区分	平成28年度	平成29年度	平成 30 年度
若林スポーツ賞	3団体	11団体	8団体
石外へが一ノ貝	41人	64人	66人
若林スポーツ奨励賞	142人	86人	64人

優れた成績に対する顕彰 を行うことにより、更な る少年スポーツの振興が 図られている。

各種大会への参加支援

- ・能登地区中学校体育大会、石川県中学校体育大会、石川県吹奏楽コンクール
- ・北信越大会

参加校	競技
七尾中学校	陸上、バスケットボール、卓球、バドミントン、
	柔道、バレーボール
能登香島中学校	野球

• 全国大会

参加校	競技
七尾中学校	陸上、バスケットボール、卓球、駅伝、
	バレーボール
七尾東部中学校	陸上、バレーボール

中学校部活動大会参加補助金 3,208千円

(補助金交付件数 48件)

	中体連	全能登大会		
由兴生	又は	県大会	法出交	1/2
中学生	中文連関係	北信越大会等	補助率	1/2
		全国大会		

(対象経費) 交通費、宿泊費、大会参加費

(対象者) 選手、監督、コーチ等として登録された者

様々な分野で少年スポー | ツの振興が図られてい る。

1 子ども教育の充実 (2) 教育環境の充実

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明 28年度		29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	30年度 数値目標
中学校における不登校 生徒の割合	不登校生徒への取組 み状況を示す指標	2. 93%	2.85%	3.65%	2.00%	1.00%

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 学校規模の適正化と教育環境の整備

※児童生徒数の推移(各年5月1日現在 学校基本調査)

区 分	平成 28 年度	平成 28 年度	
小学校の児童数	2,471人	2, 423人	2,314人
中学校の生徒数	1,328人	1,265人	1,286人

小中学校施設の維持管理

小丸山小学校プールろ過装置修繕工事

天神山小学校グラウンドフェンス修繕工事

天神山小学校1階男子トイレ改修工事

東湊小学校漏水修繕工事

石崎小学校プールろ過装置修繕工事

田鶴浜小学校体育館屋根漏水修繕工事

田鶴浜小学校シャワー設備設置工事

中島小学校プール漏水修繕工事

能登島小学校放送設備修繕工事

七尾東部中学校グラウンドネット張替工事

能登香島中学校高架水槽改修工事

能登香島中学校高圧真空遮断器過電流継電器取替工事

能登香島中学校テニスコート法面修繕工事

学校配当予算

学校長裁量による学校運営経費の執行

小学校(10校)	34,151千円
中学校(4校)	20,369千円

学校図書館図書の整備充実

小学校図書館図書の状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
蔵書冊数(全校)	84,525∰	82,132冊	79,879冊
文部科学省基準達成校数	6/12校	5/12校	6/10校
未達成校の平均達成率	93.4%	90.3%	93.7%

緊急度を踏まえた修繕を 実施し、施設管理の適正化 に努めている。

各校において、適正に執行 されている。

学校図書館図書標準数に満たない学校への重点的な予算配分など市内全ての小中学校が図書標準数を達成するよう目指していく。

中学校図書館図書の状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
蔵書冊数 (全校)	38,435∰	31,966册	33,018冊
文部科学省基準達成校数	0/6校	0/4校	0/4校
未達成校の平均達成率	71.3%	79.0%	84.2%

標準冊数は、学級数により 変動するため、達成割合も 年度によって変動する。

学校図書館司書の配置

司書教諭、図書館担当教諭及び図書館と連携した図書館運営 学校図書館司書(小・中学校) 専任10名、兼任2名 計12名 児童生徒への適正な指導 により、読書の定着が図ら れてきている。

理科教育等備品の整備

理科教育用教材等の計画的な整備 朝日小学校、中島小学校、七尾中学校 計画的な設備備品の導入 や更新をしている。

学校 I C T環境の構築

小中学校児童生徒用パソコンの維持管理 教育用フィルタリングソフトによるネットワークの監視 校務用パソコンの維持管理 学校で情報教育の推進が 図られており、情報機器も 適切に管理されている。

七尾市立小中学校再編整備計画の推進

中学校整備計画案(市内4校)の着実な推進

·朝日小学校

徳田小学校、高階小学校の統合

平成30年3月 校舎改修、プール完成

平成30年4月 開校

朝日小学校の開校により、 市内の小学校における複 式学級の解消が図られた。

② 就学機会の公平性の確保

スクールバスの運行

区分	学校名	路線数	運行方式等
	朝日	3路線	運行委託
	東湊	4路線	運行委託
小学校	田鶴浜	4路線	全部委託
	中島	7路線	運行委託
	能登島	4路線	全部委託
	七尾	1路線	運行委託 (やまびこ号)
中学校	七尾東部	6 路線	運行委託
	能登香島	6 路線	全部委託

スクールバスの運行により、児童生徒の通学にかかる負担が軽減されている。

遠距離通学児童生徒への支援

区分	学校名	対象者数	助成内容
小学校	小丸山	51人	路線バス
	七尾	164人	路線バス、鉄道、自転車
中学校	七尾東部	16人	自転車
十子仅	中島	31人	委託バス、コミュニティバス、 自転車、鉄道
計		262人	

児童生徒の通学にかかる 負担と、保護者の経済負担 が軽減されている。

遠距離通学児童生徒への支援(冬季分)

区分	学校名	対象生徒数	助成内容
中学校	七尾	59人	路線バス、鉄道
甲子仪 	中島	3人	コミュニティバス
計		62人	

要保護及び準要保護児童生徒への就学援助

申請に基づく学用品費、新入学費、校外活動費、修学旅行費の支給 認定児童生徒数

×	分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
小学坛	要保護	0人	0人	0人
小学校	準要保護	228人	239人	219人
中学校	要保護	0人	0人	0人
甲子仪	準要保護	135人	135人	129人
	計	363人	374人	348人

保護者への周知により、児 童生徒に対する適正な就 学支援が行われている。

特別支援学級の運営

学校教育法第81条の規定に基づく設置

種別(自閉症・情緒障害、知的障害、肢体不自由)

小学校19学級中学校6学級

法令の趣旨に沿って、適正 な設置運営が行われてい る。

特別支援教育児童生徒への就学奨励

学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品購入費、新入学学用品費(1 学年のみ)の支給

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
小学校	36人	36人	40人
中学校	10人	8人	9人
計	46人	44人	49人

法令の趣旨に沿って、適正 な就学支援が行われてい る。

特別支援教育支援員の配置

支援が必要な児童生徒に対し、日常生活動作の介助、学習活動上のサポートを行うための支援員の配置

区分	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
小学校	9校	18人	11校	17人	10校	22人
中学校	2校	4人	3校	5人	3校	5人

対象児童生徒に対応した 適正人数の配置により、概 ね円滑な学校運営が行わ れている。

七尾市奨学金の支給

高等学校入学時の一時金 5万円を上限として予算の範囲内

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
奨学金支給者数	29人	29人	3 2 人

出身中学校長の推薦及び奨学金支給審査委員会の審査による

審査会の決定を通じて、適 正に支給されている。

保護者の申入れに対応した就学機会の確保

指定学校の変更及び区域外就学の状況

]	区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度	
	指定校変更	299人	306人	314人	
小学校	区域外就学	31人	21人	19人	
	計	330人	327人	333人	
	指定校変更	73人	75人	71人	
中学校	区域外就学	31人	27人	3 2 人	
	計	104人	102人	103人	

国の指針に沿って、保護者 の意向を反映した就学機 会の確保に努めている。

幼稚園就園奨励費 ≪国≫

幼稚園保育料(月18,000円~20,000円)に対する軽減措置

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
支給対象園児数	0人	1人	0人	
支給金額	0千円	7千円	0千円	

27年度から認定こども 園となったため、七尾市に 住所を有し、市外の幼稚園 に就園する者のみ対象

③ 児童生徒の安全対策といじめや不登校対策の推進

※不登校児童生徒の状況(年間30日を超える欠席者)

]	区 分		平成 28 年度		平成 29 年度		平成30年度	
小学坛	児童数		15人		8人		12人	
小学校	全児童数割合	0.	6 1 %	0.	3 3 %	0.	5 2 %	
中学校	生徒数		39人	,	36人		47人	
中子仪	全生徒数割合	2.	93%	2.	8 5 %	3.	6 5 %	

スクールカウンセラー・心の教室相談員の配置

スクールカウンセラー 12校(中学校4校、小学校8校) 4名(県費)

親と子のなんでも電話相談室「オアシスライン」の開設と周知 13時~16時(月~金) 相談員 5名(交替制) 青少年等延べ利用件数 422件 設置機関:七尾市青少年育成センター 電話相談による青少年の 悩み等に対する早期対策 が行われている。

いじめ撲滅PTA実践活動

委託先 七尾市PTA連合会 校区別教育フォーラムの開催など 校区ごとに、実情に応じた 取組みが行われている。

人間関係エクササイズ

人間関係を構築することが苦手な生徒への支援 各中学校年2回

適応指導教室「わかたけ」の運営

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
年間延べ相談回数	387回	438回	758回
年度末入所児童生徒数	10人	13人	18人

不登校児童生徒の学校へ の復帰や、進学に重要な役 割を担っている。

1 子ども教育の充実 (3) 学校教育体制の強化

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	30年度 数値目標
1,,.	基礎学力の定着 度を示す指標	1 1 教科 (15 教科中)	13教科 (15教科中)	1 4 教科 (15 教科中)	10教科	すべての 教科
	指導体制の充実 度を示す指標	47.8%	43.6%	_	50.0%	70.0%

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 学習内容の確実な定着

全国学力・学習状況調査等の実施

全国学力・学習状況調査 (平成30年4月17日実施) 《国》 石川県基礎学力調査 (平成30年4月16日実施) 《県》 七尾市学力到達度調査 (平成31年1月10日小学校実施) 《市》 学習内容の確実な定着に 向け、学力調査結果の分析 と指導法の改善が進め られている。

			答米			
	生活調査	国語	算数 (数学)	理科	社会	英語
小3	_	\triangle	\triangle		_	
小4					_	
小5	_	\triangle	\triangle		_	
小6	0	$\bigcirc \triangle$	ОД			
中1				_		
中2				_		
中3	0	0	0	0		

(○=国調査、□=県調査、△=市調査)

全国調査、県調査のうち、市平均が県平均を上回った教科(調査科目)

小4	国語, 算数 (2/2)
小6	国語A, 国語B, 算数A, 算数B, 社会(5/6)
中 3	国語A, 国語B, 算数A, 算数B, 社会, 理科, 英語 (7/7)

七尾市小中高連携事業における英語力調査【GTEC】

(平成30年12月14日実施)

学力向上推進会議の開催

開催回数 2回

学力向上に向けた組織的な取組みの推進

学力向上に向けた、全市的 な周知と徹底が図られて いる。 英語指導助手(ALT)の小中学校全校配置 中学校の英語科、小学校の外国語活動における活用 JETプログラム 7名 (出身国 アメリカ・南アフリカ) 児童生徒が生きた英語に 触れる機会の拡大が行わ れた。全4中学校に加え、 小学校3校(小丸山、朝日、 田鶴浜)に専任ALT3名 配置

② 指導体制の確立

学校指導訪問の実施

学校訪問 延べ37回(平成30年5月27日~2月7日) ※各校訪問複数化による指導効果の年度内検証 各学校への原則小中学校 年3回の訪問により、指導 事項の早期改善が行われ ている。

校長研修会・教頭研修会の運営

教育委員会、中能登教育事務所からの指示伝達、連絡調整、独自研修等 開催回数 各々月1回 全市的な取組みの浸透と 一定教育水準の確保が 図られている。

学校組織力向上研修会等の実施

対象 校長、教頭、教務主任、研究主任、進路指導主事、生徒指導主事等

4月10日 年度の方針及び確認事項

ミドルリーダー、トップリーダー研修会

組織的な学校経営を推進 するシステムは構築され たが、職員の共通理解と 取組みの徹底が必要で ある。

七尾市立学校職員表彰

教職員の意欲向上と学校の活性化による学校教育の振興 被表彰者 5名 (小学校4名・中学校1名、 男3名・女2名) 平成31年2月15日 (教育活動をたたえるつどい) 教職員の意識と資質の向上が期待できる。



指定研究による指導力の向上 《国・県》

英語教育強化拠点地域事業	小丸山小学校 田鶴浜小学校 七尾中学校
いしかわ道徳教育推進事業	和倉小学校 能登香島中学校

指定研究により、学校 ぐるみでの指導力の向上 が図られている。

市学力向上推進事業 《市》

小丸山小学校, 東湊小学校, 天神山小学校 能登香島中学校

児童生徒による授業評価

全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査により「先生は、授業やテス|紙調査を活用し、指導改善 トで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えしにいかしている。 てくれますか」の回答(平成28年度から)

【小学校】

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
肯定評価 (よく~)	52.0%	53.7%	
おおむね肯定評価	36.2%	35.6%	
おおむね否定評価(あまり~)	8.3%	8.1%	
否定評価	3.5%	2.3%	

【中学校】

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
肯定評価 (よく~)	31.8%	36.2%	
おおむね肯定評価	41.9%	46.5%	
おおむね否定評価(あまり~)	19.7%	14.5%	_
否定評価	6.5%	2.1%	

学校教職員成人病等検査

定期健康診断、心電図検査、血液検査、胃部X線検査 受診者数 186人

七尾市教育研究所の運営

所長1名、相談員4名、学習指導開発指導員1名の配置 「授業裏ワザ」の増刷

③ 開かれた学校づくりと学校力の向上

学校評議員の設置

地域社会の支援と協力による開かれた学校づくり 評議員数 52人(小学校 32人、中学校 20人)

学校関係冊子の作成

「学校運営概要」(市立小中学校の運営方針等) 40部

各種学力調査から見て、各 校の学力の定着が図られ た。

各学校において生徒質問

法令の趣旨に沿って適正 に行われている。

教育研究の拠点として、 意義ある研究が進められ ている。

地域の人材の活用により、 適切な指導助言が得られ ている。

学校運営に対する意識 付けがされている。

2 生涯学習・スポーツの振興 (1) 生涯学習の推進

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	30年度 数値目標
市民一人当たり年間公 民館利用回数	生涯学習施設の利 用度を示す指標	4. 1回	4. 1回	_	4. 2回	4. 2回
市民一人当たり年間利 用冊数	図書館の利用度を 示す指標	6. 2 冊	5. 5冊	5. 9冊	7. 0⊞	8. 0⊞

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 生涯学習活動の推進

生涯学習施設の管理運営

年間延べ利用者数

施設名	平成 29 年度	平成 30 年度
ふれあいセンター山びこ荘	7,672人	5,407人
サンビーム日和ヶ丘	33,169人	27, 176人
田鶴浜農村環境改善センター	20,105人	16,788人
能登島生涯学習総合センター	25,780人	19,886人
能登島伝承の館	990人	1,067人

生涯学習の拠点として 多くの市民利用が図られ ており、引き続き安全で 親しみやすい施設運営を 進める。

サンビーム日和ヶ丘における映画自主上映

自主上映及び特別上映の実施状況

区 分	平成 29 年度		平成 30 年度	
自主上映の回数	0本	0回	1本	1回
特別上映の回数	0本	0回	0本	0回
年間延べ入場者数		0人	2	07人

地域づくり協議会の事業 で、映画の自主上映が開催 された。

市民大学講座の開催

開催場所:矢田郷地区コミュニティセンター等

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間延べ開催回数	166回	122回
年間延べ参加者数	1,864人	1,086人

市民に幅広い学習機会の提供が図られている。

生涯学習グループ講座の開催

開催場所:矢田郷地区コミュニティセンター等

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度	
年間開催講座数	500講座	494講座	
年間延べ参加者数	5,969人	5, 404人	

誰もが自発的に生涯学習 に取り組むことを支援 する。

公民館の管理運営

御献、袖ケ江、徳田、矢田郷、東湊、西湊、石崎、和倉、北大呑、南大呑、 崎山、高階、田鶴浜、相馬、金ヶ崎、西岸、釶打、熊木、中島、豊川、 笠師保、能登島(22館)

平成30年度から公民館を 廃止しコミュニティセン ターとなる。

公民館施設の利用状況

年 度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間延べ利用回数	10,916回	_
年間延べ利用者数	237, 427人	_

社会教育委員の設置

社会教育法に基づく委員の設置 委員 10人、年間会議開催回数 2回

七尾市成人式の開催

2019年1月13日 (七尾市文化ホール大ホール) 新成人対象者数487名のうち451名参加

実施主体:七尾市成人式実行委員会



東海北陸社会教育研究 大会等に参加し、意見交換 や自己研鑽に努めた。

新成人の手で企画立案 しており、参加型の成人式 として定着し、年々意義の 高まりが図られている。

社会教育団体の運営支援

七尾市女性団体協議会	市内4地区女性会
七尾市青年団協議会	石川県青年大会等参加など
七尾市少年団体連絡協議会	七尾市子ども大会(市内 7 団体)
七尾市子ども会連合会	13地区(1,662人)
七尾市みどりの少年団	市内 3 団体

地域や年代、立場等に 応じた社会教育活動を 進めるため、引き続き支援 を要する。

② 図書館サービスの充実

重点目標

・コミュニティづくりをささえる場 地域課題の解決を支援し、市民ニーズに添った情報提供が出来る図書館を

・市民の学びの場

目指す

子どもから高齢者が集い知識を深め楽しく学ぶことが出来る居心地よい 図書館を目指す

- ・子どもの成長、子育てを支援する場子どもの成長にあった読書活動を推進 し楽しく親しまれる図書館を目指す
- ・出会いと交流の場

人と本が出会い、人と人がつながり交 流と創造を育む図書館を目指す



重点目標を明確にし、図書館サービスの充実、市民に親しまれる図書館を目指すための事業の展開を図った。

図書館の管理運営

蔵書の状況

図書館・図書室名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
市立図書館	205,728 ⊞	227,661 ⊞	224,565 ⊞
矢田郷地区コミュニ ティセンター図書室	52,705 冊	27,007 冊	27,003 ∰
田鶴浜地区コミュニ ティセンター図書室	45,342 冊	22,807 冊	20,506 冊
中島地区コミュニテ ィセンター図書室	38,971 冊	39,999 冊	39,805 冊

※視聴覚資料及び雑誌は含まない

※平成30年度から

- ・中央図書館を市立図書館へ名称変更
- ・本府中図書館、田鶴浜図書館及び中島図書館を廃止
- ・矢田郷地区コミュニティセンター、田鶴浜地区コミュニティセンター 及び中島地区コミュニティセンターに図書室を設置

図書貸出利用の状況

図書館・図書室名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
市立図書館	185,125 冊	203,515 冊	197,009 ⊞
うち移動図書館車	70,349 冊	66,872 冊	65, 850 冊
矢田郷地区コミュニ ティセンター図書室	77,226 冊	11,939 ∰	52,704 冊
田鶴浜地区コミュニティセンター図書室	66,006 冊	41,884 ∰	10,062 ∰
中島地区コミュニテ ィセンター図書室	8,971 冊	38,638 ∰	31,978 冊

※蔵書整理休館 …市立図書館(H31年2月5日~9日)

資料整理室(H30年8月6日~10日)

矢田郷コミセン(H31年1月22日~26日)

中島コミセン(H31年1月14日~18日)

※改修のため休館…田鶴浜コミセン図書室 (H30年1月4日~10月31日)

図書館を使ったコミュニ ティづくりが行われるよ う市民ニーズに添った資 料の収集と蔵書構成に努 めた。

情報提供の場であること を意識し、幅広い年齢層と 多様なニーズに添った図 書資料の収集を行った。

本と人をつなげるための 展示企画やイベントを積 極的に行い、親しみやすく 利用しやすい環境づくり に取り組みを行った。

視聴覚資料貸出利用の状況

図書館・図書室名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
市立図書館	6,801 点	9,105 点	7,587 点	
矢田郷地区コミュニ	10,271 点	1,612 点	7,131 点	
ティンター図書室	10,271 点	1,012 点	7,131 点	
田鶴浜地区コミュニ	4,313 点	3,059 点	897 点	
ティセンター図書室	4,515 点	5,009 点	091 冶	
中島地区コミュニテ	616 点	2,916 点	9.976 占	
ィセンター図書室	010 点	2,910 点	2,376 点	

[※]個人貸出と団体貸出の合計。

コミュニティセンター図書室の管理運営

田鶴浜地区コミュニティセンター図書室…田鶴浜地区地域づくり協議会 (平成30年10月1日~)

矢田郷地区コミュニティセンター図書室…市立図書館 中島地区コミュニティセンター図書室…市立図書館

図書館協議会の運営

図書館法第14条の規定による助言及び提言 委員数9人(男5人、女4人)、年間会議開催回数 3回

利用者の利便性の向上

ホームページによる蔵書検索、図書の予約など市内1館、3室で利用できる貸出、返却、リクエスト、予約サービスを実施

蔵書していない図書資料を北陸三県及び愛知、岐阜県の図書館から相互 貸借サービスにより取り寄せて提供

利用者の課題の解決を支援するための相談(レファレンス)を実施

視覚障がい者サービス

利用者の依頼に応じて全国の図書館から点字、録音図書の取り寄せサービスの提供

高齢者サービス

本の活字を大きくした大活字本の設置 拡大読書機サービス(本の活字を拡大する機器) 「利用者がすすめる本」の展示高齢者サービス 高齢者向けのシニアコーナーの設置

移動図書館「本はともだち号」

資料整理室(旧北嶺中)を拠点として運営

近くに図書館がない地域のコミュニティセンター、学校などを対象に団 体貸出、配本、本のリクエストなどのサービスを実施

公共施設等総合管理計画 に基づき図書館施設の有 効活用と管理運営の効率 化、地域の地域の交流の場 となるように順次進めて いる。

図書館運営に対する適正 な指導、助言及び提言がさ れた。

市民の利便性を追求し利 用しやすい図書館づくり に努めた。

障がい者の利用促進を図るため、サービスの提供に 努めた。

高齢者の利用促進を図る ため、サービスの提供に努 めた。

移動図書館車を活用して 公民館、放課後児童クラブ などの各種団体への貸出 を行い、図書館利用の向上 と子どもの読書活動の推 進を図った。

杉森久英記念文庫

平成9年10月以降に故杉森久英氏遺族から寄贈された、図書資料10,487冊、雑誌3,393冊、遺品227点などを旧有隣保育園内で管理

杉森久英記念文庫活用研究会において、講演会などを行った。

図書館友の会の活動支援

会員数:200人(平成31年3月現在)

活動内容: 史跡探訪、本を読む仲間のつどい、文化講座 など

図書館行事への協力

各種文化活動の実施により地域文化の振興に寄与し会員相互の親睦と教養の向上を図った。

読書会、ボランティアグループの活動支援

団体数:読書会5、ボランティアグループ8 活動内容:読書の普及と読書会等の開催 各種読書会等の活動により図書館活動の一層の理解を深めることができた。

図書館まつりの開催

実施日:平成30年7月1日

内容:本のバザール、お話し会、手づくりとあそび、むかしかるたと

り、紙芝居劇場、子どもスタンプラリー、音楽鑑賞会など

参加者:2,026人

図書館と市民が共催した 事業として定着し図書館 を利用する機会づくりに なった。

③ 子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動推進委員会

「第3次七尾市子どもの読書活動推進計画」の推進

(計画期間:平成28年度~32年度)

委員数10人(女10人)、年間会議開催回数2回

学校図書館への支援

小中学校の図書の貸出(移動図書館車による児童、生徒への個人貸出や学 級文庫、リクエスト貸出など)

学校図書館司書研修の支援

市立図書館司書との合同研修会の開催

実施日: 平成30年12月10日

テーマ:「ビブリオバトルを学ぼう!」

講 師:石川県立図書館

司書主任 阿部 豪 氏

学校図書館の活動の支援、 連携する体制づくりに努 めた。

ブックスタート事業

対 象:3~4ヵ月児とその保護者(260組)

実施日:毎月1回健診時

内容:絵本2冊、おすすめ絵本リスト、図書館利用案内等の配布、

読書ボランティアによる絵本の読み聞かせ

場 所:パトリア3階健康推進課健康づくりルーム

赤ちゃんと保護者が絵本 を介して心ふれあうひと ときを持つ機会づくりに 取組んだ。

ブックリスト事業

対 象:1歳6ヵ月児とその保護者(286組)

実施日:毎月1回健診時

内 容:図書館職員が選書したブックリストの配布と職員による絵本

の読み聞かせ

場 所:パトリア3階健康推進課健康づくりルーム

「おすすめ図書」のリスト を配布し、子どもの成長に あった絵本と出会う機会 づくりに取組んだ。

読書の普及とおはなし会等の開催

図書館招待、定例おはなし会(乳幼児向け、幼児から小学生向け)、うちどくノート配布(小学生対象)、読書通帳配布(中学生対象)、読書スタンプカード、夏休み特別企画手作りプラネタリウム体験、家族よむよむフェスタ、中学生、高校生対象選書ツアーなど

各種企画に取組み、幼少期 から読書活動が定着する よう図った。

おはなしボランティア交流会の開催

実施日:平成31年3月2日

テーマ:「子どもと楽しむ絵本たち」

講師:ほるぷ文庫 親子読書アドバイザー

西川 一美 氏

参加者:19人

具体的な方法を学び、おはなしボランティア会員の質の向上につながった。

としょかんクラブ

対 象:小学生

目 的:本を楽しみ体験することで読書習慣の定着を目指す

内容:ブックトーク、ペーパー芯アートに挑戦しよう!、パステルア

ートの世界を楽しもう!、郷土探検隊(市内)、クリスマスお話

し会、科学のふしぎ体験教室など 6回開催

参加者:延べ241人

児童期における本の紹介、 選書により、本を読む楽し さと感性の育成に努めた。

「七尾市夏休み読書月間」(8月1日~31日)における啓発 図書館が選定したおすすめ本及び各図書館でのイベントを掲載したチラシを保育園、認定こども園及び小中学校に配布

家読(うちどく)の推進

毎月23日を「ななお家読(うちどく)の日」として推進

学校、保護者との連携を通 して、子どもたちの家庭読 書、家族読書の普及、推進 に努めた。

絵本コーナーの充実と利用促進

平成30年10月1日移転オープン 毎月展示、イベント、月例で だっこだっこのお話会、紙芝 居劇場、土ようお話会などを 開催

10月から3月まで約2週間 交代で市内の園児の作品を展示 (協力園9)



イベントなどを通し、親子、家族の利用促進に努めるとともに、おはなしボランティアと協力し、読書推進にも努めた。

2 生涯学習・スポーツの振興 (2) スポーツの振興

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	3 0 年度 数値目標
成人の週1回以上スポーツ 実施率	スポーツの振興 を示す指標	_	_	_	40.0%	50.0%

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 生涯スポーツ活動の推進

スポーツ推進委員の活動

スポーツ基本法第32条第2項の規定によるスポーツ推進委員の設置 生涯スポーツの振興のための諸活動(行事等での指導・助言など) 委員数 29人 活発な活動により、生涯スポーツ、ニュースポーツの普及が図られている。

市民スポーツ・レクリエーション祭(第13回)

事業主体 市民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会 開催期日 平成30年10月8日(主会場:田鶴浜体育館) 大会内容 ウォーキング、体力テスト、リレーマラソンなど 参加人数 1,287人 市民スポーツの普及・定着 のきっかけづくりとして の効果が上がってきてい る。

総合型地域スポーツクラブ等の運営支援

活動内容

NASPO	バドミントン、フレッシュテニス ジュニアトランポリン、3B体操など 18教室
田鶴浜スポーツクラブ	ミニバスケットボール、学童野球 ジュニアバドミントンなど 23クラブ1教室
なかじまスポーツクラブ	学童野球、ジュニアバドミントン ミニバスケットボールなど 15 教室
能登島少年少女スポーツクラブ	野球、バレーボール、ソフトテニス 相撲、空手の5団体

活動の活発化に伴い地域 において市民スポーツの 普及・定着が進んでいる。 更に、幅広い年代での利用 者の増加に向けた、積極的 な取組みが必要である。

会員数の状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
NASPO	223人	216人	205人
田鶴浜スポーツクラブ	576人	477人	532人
なかじまスポーツクラブ	320人	319人	317人
能登島少年少女スポーツクラブ	82人	93人	100人

その他スポーツ関係団体の運営支援

七尾市スポーツ少年団	各種少年スポーツ大会の運営 80名	
七尾市学童野球連盟	学童野球大会の運営など	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8チーム	
石川県勤労者体育協会	勤労者を対象とした各種大会の運営など	
石川宗到力石 平月 励云	年間55大会、3教室	

少年スポーツ及び勤労者 体育の維持・向上のため 引き続き支援を要する。

② 競技スポーツの振興

七尾市体育協会の運営支援

石川県民体育大会への選手団派遣、競技力の強化、各種大会開催など 加盟競技団体 37団体 市内競技スポーツ推進の 中核的な存在であり、更に 活動の充実を図る。

七尾市武道協議会の運営支援

新春鏡開き式及び錬成初稽古の実施 平成31年1月3日(七尾武道館・七尾総合市民体育館) 協議会加盟8団体、350名の参加 武道競技人口の維持拡大 を図るため、引き続き支援 を要する。

石川県民体育大会への選手派遣と育成強化

第70回石川県民体育大会(輪島市ほか開催) 51競技中、七尾市では36競技、793名の参加 ※男子総合8位、女子総合8位 更なる競技レベルの向上 を図る必要がある。

七尾市スポーツ賞

成績優秀者の顕彰による競技スポーツの振興(スポーツ基本法第20条)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
特別賞			
スポーツ賞	26人 1団体	13人	27人
スポーツ奨励賞	30人 8団体	31人 4団体	33人 10団体
スポーツ功労賞	3人	1人	1人
スポーツ特別賞	0組(0人)	0組(0人)	0組(0人)

スポーツの競技力向上に 対する関心を持たせる ため、引き続き顕彰の継続 を要する。

能登島武道館立野弓道場開設記念大会(第22回)

事業主体 七尾市弓道協会

開催期日 平成30年9月9日(能登島武道館立野)

参加者数 50チーム、137名 (男子87名、女子50名)

武道競技人口の維持拡大 を図るため、引き続き開催 を進める。

石川県高等学校相撲七尾大会(第58回)

事業主体 石川県高等学校相撲七尾大会実行委員会

開催期日 平成30年4月29日(愛宕山相撲場)

参加者数 250人

競技の振興が概ね図られ ている。

③ スポーツ環境の充実

城山陸上競技場公認更新改修工事

(工期:平成30年8月~平成30年10月)

中島体育館屋根及び外壁改修工事

(工期:平成30年7月~平成30年12月)

体育館の管理運営

利用者数の推移

施 設 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
七尾総合市民体育館	52, 548 人	58, 239 人	54, 987 人
城山体育館	27, 967 人	12,077 人	24,892 人
みなとふれあいスポーツセンター	23, 366 人	21,674 人	18, 119 人
田鶴浜体育館	20,460 人	27,938 人	32,627 人
中島体育館	31,598 人	31,592 人	30,558人

陸上競技場の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
城山陸上競技場	34,928 人	33, 733 人	26,732 人

テニスコートの管理運営

利用者数の推移

施 設 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小丸山テニスコート	5,595人	5,300人	6,709人
田鶴浜テニスコート	3,291 人	1,333 人	1,231 人

野球場の管理運営

利用者数の推移

1 47 14 12 29 1 1 1 1 1 2			
施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
七尾城山野球場	19, 115 人	13, 190 人	14,710 人
中島野球場	4, 195 人	4,031人	2,735 人
中島学童野球場	6,145 人	8,382 人	8,154人

水泳プールの管理運営

利用者数の推移

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
城山水泳プール	4,090 人	3,483 人	3,953 人

城山陸上競技場の公認更 新に係る改修工事

中島体育館の屋根及び外 壁の改修工事

多くの市民に利用されて おり、引き続き利用率の 向上に努める。今後は、 合宿等交流人口の拡大 との利用の住み分けに 配慮していく必要がある。

市内唯一の公認陸上競技 場であり、競技レベルの 向上に資している。

適正な維持管理により、 市民の利用が確保されて いるが、更なる利用促進に 努める必要がある。今後 は、合宿等交流人口の拡大 との利用の住み分けに 配慮していく必要がある。

適正な維持管理により、 利用確保が図られている が、更なる利用促進に努め る必要がある。

適正な維持管理により、 市民の利用が確保されて いるが、更なる利用促進に 努める必要がある。

武道館の管理運営

利用者数の推移

施 設 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
武道館	注道館 18, 270 人		18,994人
田鶴浜武道館	6,450人	3,001人	3,430 人
中島武道館	765 人	_	_
能登島武道館立野	4,514人	4,749 人	3,765 人

適正な維持管理により 市民の利用が確保されているが、更なる利用促進に 努める必要がある。

その他の体育施設の管理運営

利用者数の推移

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
愛宕山相撲場	1,650人	1,277人	810 人
中島相撲場	0人	_	_
小丸山ゲートボール場	2,829 人	2,756人	2,490 人
田鶴浜室内ゲートボール場	3,433 人	3,812人	4,272 人
二枚田運動場	1,955人	917 人	470 人
田鶴浜多目的グラウンド	6,360人	6,888人	6,026 人
中島集いの広場	3,879人	3,018人	3,227 人

適正な維持管理により 市民の利用が確保されて いるが、更なる利用促進に 努める必要がある。

海洋センターの管理運営

利用者数の推移

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
B&G七尾海洋センター	1,935人	1,977人	1,363 人

B&Gななお海洋クラブの運営(会員数 55名)

適正な維持管理により 市民の利用が確保されて いるが、更なる利用促進に 努める必要がある。

コロサスキー場の管理運営

ゲレンデ 15,900 m²、ペアリフト L=221m

指定管理者:湖畔公園コロサ管理組合

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
年間営業日数	3 5 日間	36日間	14日間
年間入場者数	6,311 人	7,864 人	902 人

市内小学校スキー実習や 多くの市民に利用されて おり、引き続き利用率の 向上に努める。

3 歴史・伝統文化の振興 (1) 歴史・文化遺産の保全と活用

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	30年度 数値目標
歴史・文化遺産が守られて いると思う市民の割合	歴史・文化遺産の 保全への取組状 況を示す指標	_			58.6%	60.0%

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 歴史的価値のある文化財の保護

国指定文化財の保護

国指定文化財(31件)

記念物	史跡	七尾城跡 能登国分寺跡 附 建物群跡 万行遺跡 須曽蝦夷穴古墳
絵画		絹本著色 前田利春画像 一幅
有形文化財	彫刻	木造 久麻加夫都阿良加志比古神坐像 一躯 木造 千手観音坐像 一躯
化化	工芸品	刺繍 阿弥陀三尊像 一幅
	建造物	藤津比古神社本殿附棟札 一棟・二枚 座主家住宅 一棟
無 形 民俗文化財		青柏祭の曳山行事 気多の鵜祭の習俗 熊甲二十日祭の枠旗行事
(登録文化財)		懐古館ほか、17件

文化財パトロールの実施(年4回)

史跡の管理(七尾城跡ほか3件)

無形民俗文化財後継者育成(青柏祭でか山保存会)



史跡七尾城跡本丸からの景観(梢落とし後)

所有者や管理者(町会等)、 保存団体と連絡を密にし、 適正に管理にされている ことを確認している。 更に、県により、定期的(年 4回)にパトロールが実施 され、文化財の実態確認も 行われている。

七尾城跡本丸周辺の樹木 の梢を伐採して景観復元 し、来城者から好評を得 た。

気多の鵜祭の習俗の主役 を務める鵜を捕獲する鵜 捕崖の修繕補助を行い、保 護団体と連携して文化財 保護することが出来た。

県指定文化財の保護

県指定文化財(26件)

	史跡	院内勅使塚古墳 一基	
		赤蔵山	
記		上町マンダラ古墳群	
念		飯川のヒヨドリザクラ	
物	天然	伊影山神社のイチョウ	
	記念物	岩屋化石層	
		唐島神社社叢タブ林	
	絵画	絹本著色 印鑰明神垂迹図 一幅 ほか10件	
	彫刻	木造 阿弥陀如来坐像 一躯	
有		木造 薬師如来坐像 一躯	
形	歴史	伊夜比咩神社棟札 三十二枚	
有形文化財	資料		
財		紙本墨書 正法眼蔵、伝光録・	
	典籍	正法眼蔵仏祖悟則 附納入箱 八十二冊・一合	
		賦何船連歌 一巻	
無形		七尾まだら(「能登のまだら」のうち)	
	形	能登の諏訪祭りの鎌打ち神事	
民俗文化財		能登島向田の火祭	

文化財パトロールの実施(年1回) 指定文化財(史跡、天然記念物等)周辺除草管理 唐島神社社叢タブ林等管理支援(塩津町会他) 無形民俗文化財後継者育成支援(七尾まだら保存会)



院内勅使塚古墳 一基(下町)

所有者や管理者(町会等)、 保存団体と連絡を密にし、 適正に管理にされている ことを確認している。 更に、県により、定期的(年 1回)にパトロールが実施 され、文化財の実態確認も 行われている。

市指定文化財の保護

市指定文化財(238件)

	史跡	高木森古墳 一基 東嶺寺内長家墓所 殿様道 ほか10件
記念	名勝	机島 北国八十八ヶ所霊場
物	天然 記念物	ケヤキ (飯川町) 大杉 (久麻加夫都阿良加志比古神社) 小牧のスダジイ 出村家のタブノキ ほか7件
	古文書	青木家古文書 一括 ほか40件
	絵画	釈迦涅槃図 一幅 三千仏画像 一幅 ほか13件
右	工芸品	西光寺梵鐘 一口 ほか27件
有形文:	考古 資料	赤浦遺跡出土貝殼文土器 一口 ほか12件
化財	彫刻	木造 聖観音立像 一躯 木造 阿弥陀如来坐像 一躯 ほか37件
	歴史 資料	総社三十六歌仙額 三十六面 ほか49件
	建造物	総社本殿 一棟 ほか10件
有 形 文 化 財		大旗
無 形 民俗文化財		ぼんぼらがい(山崎の目連尊者地獄めぐり) 獅子舞(三引町) 釶打のおすずみ祭り ほか10件

文化財パトロールの実施(年1回)

文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項の調査及び審議 委員数 8人、年間会議開催回数 2回



七尾市文化財保護審議会調査風景(気多本宮神社)

所有者や管理者(町会等)、 保存団体と連絡を密にし、 適正に管理にされている ことを確認している。 更に、市により、定期的(年 1回)にパトロールが実施 され、文化財の実態確認も 行われている。

文化財の保護や新指定に向けた検討を行った。

文化財関係団体との連携の推進

	能登地域の連絡提携(昭和35年発足)
能登文化財保護連絡協議会	現地調査、「能登の文化財」発刊など
プロリカ 中央 かま かまり アロリカ かん	史跡の保存整備、調査研究と事業の推進
石川県史跡整備市町協議会	県内17市町で構成
	七尾城史資料館・懐古館の管理運営
(公財)七尾城址文化事業団	機関紙「七つ尾」の発刊 など

各団体と連携しながら、 目的を達成することが できた。

② 歴史・文化遺産の調査・研究活動の推進

市内遺跡発掘調査

開発行為等に伴う確認調査(5ヵ所) 能登国府確認調査(上古府遺跡)の実施



上古府遺跡発掘調査風景写真

史跡万行遺跡の管理

史跡万行遺跡の除草管理(万行遺跡保存会) 3回

開発者の理解を得ながら、 試掘調査を実施し、目的を 達成した。

能登国府確認調査の一環 で上古府遺跡の発掘調査 を実施した。

地元の協力を得て、目的を 達成できた。今後の活用策 の検討が必要。

③ 歴史・文化を活かした交流の促進

七尾城史資料館、懐古館の管理運営

指定管理者 公益財団法人七尾城址文化事業団

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
七尾城史資料館	5,624人	6,568人	7,670人	
懐古館	3,257人	3,402人	2,899人	

(※平成20年度から冬期3か月の休館を実施)

適正に管理・運営されている。

指定管理者である(公財) 七尾城址文化事業団と連 携しながら、入館者増の 取組みに努めている。

能登国分寺公園の管理運営

公園面積 53,000㎡

敷地内の芝生、樹木ならびに駐車場、トイレの管理

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度	
能登国分寺展示館	1, 141人	1,244人	1,175人	

(※平成19年度から冬期3か月の休館を実施)



能登国分寺公園南門

文化財資料整理室の管理運営

発掘調査出土品等の資料整理と保管管理 ※平成24年度に旧有隣保育園(寿町)に移転

祭り会館の管理運営

国指定無形民俗文化財「熊甲二十日祭の枠旗行事」の常設展示

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度	
祭り会館	2,350人	2, 195人	1,666人	

(※平成20年度から冬期3か月の休館を実施)

蝦夷穴歴史センターの管理運営

国指定史跡「須曽蝦夷穴古墳」を主とした展示施設

	· · · · · -		
区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
蝦夷穴歴史センター	1,020人	724人	548人

(※平成18年度から冬期4か月の休館を実施。平成30年10月から休館中。)

明治の館の管理運営

市指定文化財「明治の館」の展示公開

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度	
明治の館	1, 431人	1,756人	1,539人	

(※平成20年度から冬期3か月の休館を実施)

良好に管理運営できている。開園後20年経過していることから南門などの復元遺構の損傷が著しく、対応が課題である。

発掘調査資料等の整理は、 予定どおり実施できた。

明治の館と連携したPR に努め、入館者数増の取組 みが最重要な継続課題で ある。

適切に施設の管理運営が できている。

祭り会館と連携しながら 入館者増の取組みが必要 である。

七尾学の推進

七尾学講座の開催 (4回)

委員会の開催 (3回)

「七尾検定」実施日:平成31年2月23日(土) 七尾市文化ホール

受検者79人 上級 20人 (うち合格者 15人)

中級 30人 (うち合格者 9人) 初級 29人 (うち合格者 27人)

博物館整備事業

のと里山里海ミュージアムの建設工事及び展示制作の完了



能登歴史公園センター・のと里山里海ミュージアム完成式(10月28日)

のと里山里海ミュージアムの管理・運営

区分	平成 30 年度
入館者	37,673人
公園利用者(推計)	37,809人

(平成30年10月28日~平成31年3月31日)



開館時の来賓案内



開館記念イベント

適切に事業が実施されている。

県営能登歴史公園(国分寺地区)内に設置され、 能越道七尾インターチェンジと国道159号に隣接する交通アクセスに優れる立地にある。能登歴史公園センターが併設されており、能登の情報発信拠点としての機能も兼ねている。

開館は平成30年10月 28日。

能登歴史公園(国分寺地区)の指定管理及びのと里山里海ミュージアムの管理・運営能登の里山里海の普及活動事業として、企画展や里山里海講座、昔遊び教室などを定期的に開催する。

4 芸術文化の振興 (1) 優れた芸術・文化体験の創出

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度	30年度
1日 1示 4日					数値目標	数値目標
七尾美術館観覧者数	七尾美術館の観覧状況 を示す指標	27,342 人	24,909 人	29,526人	38,000 人	41,000人
能登島ガラス美術館 観覧者数	能登島ガラス美術館の 観覧状況を示す指標	39,721 人	34,916人	37,890人	55,000 人	60,000人

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

芸術・文化活動の促進 (1)

中島文化センターの管理運営

市民文化の振興、生涯学習の推進及び地域産業の発展

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
年間利用件数	761件	754件	881件
年間延べ利用者数	34,020人	45,578人	53,315人

※あゆみコーナー含まない。

平成23年度から(公財) 演劇のまち振興事業団を 指定管理者とし、施設の適 正な管理と、利用者への公 平なサービスに努めてい る。

中島文化センター改修積立基金の積立 (平成30年度末残高4,057千円)

池田家の管理運営

管理委託先 七尾市文化協会

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度	
年間延べ利用者数	2, 986人	2,826人	3,063人	

適正維持管理により、市民 利用の確保が図られて いる。

七尾市文化協会の運営支援

会員数 2,037名、87団体

「文化ななお」の発刊(第52号~第55号)

第13回七尾市民文化祭の開催(平成30年10月12日~11月11日)

その他文化団体の活動支援

1-2 11	
上見美術佐安协会	市民の美術文化の向上と青少年育成
七尾美術作家協会	総合美術展の開催
了!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	芸術活動を通じた勤労意欲の向上
石川県勤労者文化協会 	各種展覧会の開催など
オーケストラ・アンサンブル	第 17 回定期公演の実施
金沢七尾定期公演企画委員会	七尾市文化ホール
並代1年足朔公便企画安貝云 	12月23日(日) 入場者数 883人

市民文化のすそのを拡大 のため、引き続き支援を要 する。

市民文化のすそのを拡大 し、引き続き支援を要す る。

全能登私の主張発表大会の開催

新しい生活文化の創造と明日の郷土づくりへの反映 平成30年8月19日(七尾市文化ホール)発表者19人

スクールシアターの開催(石川県芸術鑑賞推進事業の実施) 山王小学校(平成30年6月5日)360人参加 大会は、中学生、高校生、 一般の3部門で開催され、 各々の思いが込められた 発表により、青少年や大人 世代の相互理解に役立っ た。

児童生徒の芸術鑑賞の 機会確保が図られた。

② 美術館の機能充実

七尾美術館の管理

指定管理者 公益財団法人七尾美術財団

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
展覧会開催日数	287日	286日	286日
延べ観覧者数	27,342人	24,909人	29,526人
市民ギャラリー貸館利用	2,872人	3, 175人	2, 996人
七尾市美術展覧会	1,599人	1,396人	1,660人
アートホール貸館利用	6,954人	7,058人	6, 159人

※延べ観覧者数には、市民ギャラリー貸館、七尾市美術展覧会を含む

美術館主催の展覧会事業の他、市民ギャラリーやアートホールの貸館事業を 実施し、多くの市民等に美 術館施設を活用していた だくことができた。

アートホールは、音楽や芸 能関係の他、医療関係の講 演や各種研究発表等で利 用されている。

七尾美術館の運営

主な企画展及び入館者数

長谷川等伯展 ~等伯の挑戦と継承せし者たち~	5,782人
第74回現代美術展七尾展	1, 555人
世界が絶賛した浮世絵師	9 4001
北斎展~師とその弟子たち~	8,499人
能登立国 1300 年·妙成寺五重塔建立 400 年	1 451
能登にはぐくまれた文化財〜妙成寺の名宝を中心に〜	1,451人
2018イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	4,941人

長谷川等伯展は毎年開催し、市内外から好評を得ている展覧会である。限られた文化財を毎年借用することは難しく、継続展として今後、どのような切り口で等伯を紹介していくか課題である。

ボローニャ展、現代美術展の継続開催に加え、地元芸術家を広く県民、市民に紹介することで、美術への意識を高め、また、文化意識の醸成に努めた。また、幅広い年齢層に向けた企画展を開催し、芸術文化の普及に努めた。

教育普及活動実績

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
学芸員による一般団体解説	1, 473人	1,710人	1,562人
学校団体鑑賞	1,746人	1, 150人	605人
等伯子どもなんでもクイズ	421人	439人	60人
絵本づくりワークショップ	129人	135人	197人
お話劇場・紙芝居劇場	202人	182人	222人
映画上映会	1,262人	636人	834人
展覧会関連イベント	123人	370人	49人

※長谷川等伯展で鑑賞の手引きを作成。来館者に広く配布(4,000 部) 児童生徒への等伯学習の資料としても活用された。 児童生徒や希望の団体に 展示室で解説することに より来館者の美術への 関心と興味を深め、満足度 を上げることができた。

ワークショップでは、 子どもたちのみならず 親子で楽しく鑑賞できる ことを目的とした内容で 実施することにより、芸術 を身近に感じ、美術館への 来館に繋がるよう努めて いる。

講演会等

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
特別講演会 長谷川等伯展	75人	85人	103人
ギャラリートーク、列品解説など	60人	240人	285人

等伯展講演会には、毎年 著名な研究者を招聘し、 学術的にも貴重な機会と して継続開催することで 出生地としての文化意識 の向上に努めている。

企画展の内容に応じて学芸員による列品解説の時間を設けることで、より美術作品への理解と関心を深めることに努めた。

所蔵品充実のため、引き続き事業を進める。

美術品収集積立基金の積立(平成30年度末残高 336千円)

七尾市美術展覧会の開催支援

購入 無し、寄附 6点

七尾美術館美術品収集事業

事業主体 七尾美術作家協会

事業内容 一般の部:日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

高校生の部:絵画、書、写真、工・彫刻

幼児・小学生・中学生の部:絵画、習字、写真、工作

開催期日 平成30年10月26日~10月29日(七尾美術館)

市民作家の力の向上が 図られ、年々出品数が増加 してきている。

幅広い年齢層の美術への 興味関心を深める機会と なっている。

その他の事業

学校との連携事業

・中学生わくワーク就業体験受入

実施期間:平成30年7月3日~7月26日(2回)

受入対象: 七尾中学校2年生2人受入指導

七尾東部中学校2年生4人受入指導

・高校生インターンシップ受入

実施期間:平成30年8月6日~8月8日 受入対象:七尾高等学校2年生2人受入指導

・学校団体鑑賞の受け入れ

受入件数:47団体、1,290人(引率者を含む)

能登島ガラス美術館の管理

指定管理者 公益財団法人 七尾美術財団

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度
展覧会開催日数	3 2 1 日	3 3 2 目	3 3 0 目
延べ観覧者数	39,721人	34,916人	37,890人

ガラス芸術普及の拠点と して、また交流人口拡大の 拠点として、利用者の増加 を目指した。

中高生は就業体験を通し、

職場としての美術館を

体験することで、将来の 職業選択はもとより、

芸術、文化への興味関心を

深めることに繋がった。

能登島ガラス美術館の運営 主な企画展及び入館者数 から好評を

ガラスの植物園	12,405人
ガラスのうつわ 手から生まれる暮らしのかたち	14,996人

企画展では、多くの来場者 から好評を得た。今後も親 しみやすい内容の展覧会 を行う。



ガラスの植物園

教育普及活動実績

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
一般団体解説	422人	790人	1,043人
学校団体鑑賞	705人	541人	466人
展覧会に関連した特別企画	145人	823人	690人
こども館長・こども学芸員	12人	一人	一人
七尾市民無料デー	46人	46人	70人
ガラ美感謝祭	_	6 4 1	689人
ワークショップ	488人	491人	688人
市内文化イベント出張ワークショップ	24人	28人	36人

ガラス芸術ならびに美術 に対する市民の関心を 高めるための事業を開催 し、参加者の増加を目指し た。

能登島ガラス美術館美術品収集事業 購入 なし、寄附 7点

・ 学校団体鑑賞の受入れ

受入れ数:14団体、493人(引率者を含む)

子どもたちが豊かな表現 能力を身につけ、将来を 担う人材を育成するため、 今後も学校との連携事業 を行う必要がある。

・職場体験学習の受入れ ※平成30年度 受入れなし

・地域活動への協力

内容:「能登島ふれあいまつり出張ワークショップ」

身近な草花でつくるハーバリウム

日程:平成30年11月5日 参加人数 20人

場 所:能登島地区コミュニティセンター前

・中学生課題への協力

内容:夏休み課題「能登島ガラス美術館新聞」づくりへの協力

七尾東部中学校1年生 2名

七尾市能登島カルチャーパークの管理

指定管理者 公益財団法人七尾美術財団

屋外ガラス作品の管理

敷地内の芝生、樹木ならびに駐車場、道路の管理

開かれた憩いの場を提供 する美術館として、今後も 継続してパーク管理を 行う必要がある。

4 芸術文化の振興 (2) 地域に根ざした演劇文化の振興

七尾市総合計画に掲げている数値目標

指標名	指標の説明	28年度	29年度	30年度	2 5 年度 数値目標	30年度 数値目標
能登演劇堂鑑賞者数	能登演劇堂の鑑賞状況 を示す指標	7,882人	18,977 人	6, 222 人	24,000 人	28,800 人

事務事業名及び主な活動内容

事務事業に対する評価

① 演劇文化の魅力創出

能登演劇堂の運営

自主事業及び鑑賞者数

「風と緑の楽都音楽祭」2018	351人
「殺しのリハーサル」	1, 123人
「煙が目にしみる」	1,027人
「風のコトダマⅡ」~松本隆の裸にされた言葉たち~	444人
市民劇団 劇団N 第21回定期公演 「雨があがれば」	519人
「かもめ」	1, 124人
「映像で観る無名塾劇世界」&トークショー	382人
「星屑の町〜完結篇」	1,252人

前年度は能登演劇堂ロングラン公演が行われ、県内外から多くの来場者があったが、今年度は集客に苦戦した。今後は来場者の興味を引くような公演を行う



市民劇団 劇団N 第21回定期公演「雨があがれば」

貸館事業及び入場者数

中部日本高校演劇ワークショップ	114人
七尾東雲高校演劇科第9回定期公演 「アンネ〜あなたは生きている」	951人

② 演劇文化の醸成と継承

演劇のまち振興事業

県立七尾東雲高等学校演劇科支援事業補助金

1年生 0人2年生 0人3年生 2人

2018能登演劇堂ワークショップ

実施日 平成30年8月17日~20日 参加者 愛知・岐阜・三重・福井・石川・富山 中部日本高等学校演劇連盟に加盟する生徒

まちなか公演

実施日 平成31年2月3日 場 所 中島地区コミュニティセンター多目的ホール 入場者 203人

アウトリーチ事業(ワークショップ)

平成31年1月23日 和倉小学校 3~4年生43人 1月24日 中島小学校 3年生 40人 1月31日 能登島小学校 3~4年生35人 演劇に関わる人材を広く 募集し育成を行う必要が ある。 県内外を問わず 生徒数の増加を期待 する。

高等学校演劇部の部活動 における、演劇表現の向 上に寄与することができ た。

能登演劇堂周辺施設を舞台にした「まちなか公演」 演劇文化の振興に寄与した。

演劇文化の普及を図ることを目的に初めて実施。 表現活動の楽しさを伝えた。



市民のねがい

~七尾市民憲章~

古き歩みを誇りつつ 文化の薫るふるさとに 豊かな未来夢ひらく

なみおだやかに碧光り ななおのまちに人集う おとなも子どもも手をつなぎ しあわせの和を広げよう

平成18年9月21日制定

【問合せ先】

〒926-8611 石川県七尾市袖ケ江町イ部25番地 七尾市教育委員会事務局 教育総務課 TEL 0767-53-8434 FAX 0767-52-5194 E-mail kyouiku-soumu@city.nanao.lg.jp